

NICHIBUNKEN KYOTO ACADEMIC BRIDGE

第 8 回

日 文 研  京 都

アカデミック
ブリッジ



THEME



世界が見た日本の古典
～魅力再発見～

パネリスト：李 愛淑（国立韓国放送大学日本学科教授 / 国際日本文化研究センター 外国人研究員）
パネリスト：オリバー・ホワイト（国際日本文化研究センター 特任助教）
パネリスト：マリオ・タラモ（国際日本文化研究センター 外国人研究員）
進行：荒木 浩（国際日本文化研究センター 教授）

2024.2.11（日・祝）14:00～16:00（開場13:30） 京都新聞文化ホール

（京都市中京区烏丸通夷川上ル京都新聞ビル7階）

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター、京都新聞
後援：京都府

要申込

入場無料

定員150名

（抽選による）



THEME

世界が見た日本の古典 ～魅力再発見～

「源氏物語」「東海道中膝栗毛」・・・誰もが知る日本を代表する古典文学です。日本人でも数居が高いそれらに魅了された外国人研究者がいます。韓国、イギリス、イタリアなどから京都へ活躍の場を移した3人の日研研究員に、多様な古典の魅力について語ってもらいます。

長く受け継がれてきた日本の宝物をあらためて知り、読みたくなるよう、楽しくディスカッションします。



パネリスト 李 愛淑 (イ・エスク)

国立韓国放送大学日本学科 教授 / 国際日本文化研究センター 外国人研究員

1995年、東京大学大学院(国語国文学専攻)にて文学博士号取得。東京大学文学部研究員を経て1997年より現職、2023年より日研外国人研究員を兼任。専門分野は平安朝物語文学(『源氏物語』など)。著書に『日本文学散策』(韓国放送大学出版文化院、2009)、『色彩から見た王朝文学:韓国の『ハンジュンロク』と『源氏物語』の色』(笠間書院、2015)などがある。



パネリスト Oliver WHITE (オリバー・ホワイト)

国際日本文化研究センター 特任助教

2023年コロンビア大学東アジア言語文化学部博士後期課程修了、文学博士。国際交流基金フェロー、早稲田大学特別リサーチフェローを経て、2023年3月より現職。専門分野は十返舎一九の『東海道中膝栗毛』に関わるテキストを中心に、江戸後期戯作文学。



パネリスト Mario TALAMO (マリオ・タラモ)

国際日本文化研究センター 外国人研究員

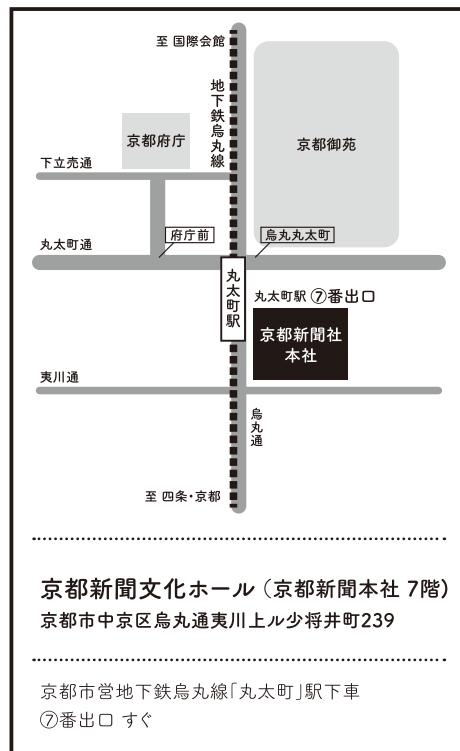
2011年ナポリ東洋大学博士課程修了。フランス国立学術研修院ポスドク研究員、宗教・思想史研究科ポスドクター、カタニア大学非常勤講師を経て、2023年9月より現職。専門分野は江戸後期文学。著書に十返舎一九作『東海道中膝栗毛』のイタリア語訳(Hizakurige: A piedi lungo il Tokaido, 2019)などがある。



進行 荒木 浩 (あらき ひろし)

国際日本文化研究センター 教授

1986年京都大学大学院博士後期課程中退、博士(文学、京都大学)。大阪大学大学院教授を経て、2010年4月より現職。総合研究大学院大学教授を兼任。国文学研究資料館併任助教、コロンビア大学客員研究員、ネルー大学、チューリヒ大学、ベトナム国家大学、チュラーロンコーン大学、ソフィア大学の客員教授などを歴任。専門分野は日本文学。近年の著作に『京都古典文学めぐり』(岩波書店、2023)、『古典の中の地球儀』(NTT出版、2022)、『「今昔物語集」の成立と対外観』(思文閣人文叢書、2021)、『徒然草への途』(勉誠出版、2016)、編著に『古典の未来学』(文学通信、2020)、『夢と表象』(勉誠出版、2017)などがある。



京都新聞文化ホール(京都新聞本社 7階)
京都市中京区烏丸通夷川上ル少将井町239

京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車
⑦番出口 すぐ

参加申し込み方法

参加ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望人数(複数名参加希望の場合は全員の必要事項)を明記の上、はがき、Eメールまたは右記応募フォームで下記宛先にお申し込みください。応募多数の場合は、抽選で150名に聴講券を送付します。

締め切り: 2024年1月30日(火) (必着)

〈はがき〉〒604-8567 京都市中京区烏丸通夷川上ル
京都新聞COM事業推進局内「日研一京都アカデミックブリッジ」係

〈Eメール〉 keikaku@mb.kyoto-np.co.jp
〈応募フォーム〉 https://kyoto-np.jp/_KEN1RUg



※応募者の個人情報は、京都新聞COMが管理し、本事業の運営と日研関連事業のご案内に使用させていただきます。

※本事業の取材を希望される方は、右記のアドレスにご連絡願います: keikaku@mb.kyoto-np.co.jp